

講師、パネラーのプロフィール（敬称略）

基調講演講師	<p>中本 進一（なかもと しんいち）埼玉大学 人文社会科学部 教授</p> <p>北アイオア州立大学卒業。リーズ大学大学院国際研究修了。一橋大学講師、埼玉大学准教授を経て2008年4月から現職。</p> <p>埼玉県多文化共生推進委員長、埼玉県留学生交流協議会長等を歴任。専門は異文化間教育。主な論文に「多文化共生政策を視野に入れる留学生受け入れ」（JASSO『留学交流』2015年7月号Vol.52）など。</p>	
講師・パネラー	<p>岡崎 広樹（おかざき ひろき） 芝園団地自治会 事務局長</p> <p>2012年に三井物産（株）を退社し松下政経塾に入塾。2014年より芝園団地在住。学生ボランティア団体「芝園かけはしプロジェクト」と協働しながら、地元内外の人や組織の力を活かした「開かれた自治会構想」を推進してきた。欧州評議会の Intercultural cities Programme（ICC）の調査、第2次川口市多文化共生指針改訂版の策定委員や埼玉県多文化共生推進会議の委員などを務める。2022年7月には、「外国人集住団地—日本人高齢者と外国人の若者の“ゆるやかな共生”」を扶桑社新書から出版。</p>	 <p>撮影 浅野 剛</p>
パネラー	<p>メメット・ユジェル（株）Rojava 代表取締役</p> <p>1989年生まれ、トルコ南東部出身のクルド人。2006年来日、2013年の（社）日本クルド文化協会の立ち上げに関わり、以後5年間代表を務める。現在は同協会メンバー。2015年建築関係の会社として（株）Rojava 設立し代表取締役に就任</p>	
パネラー	<p>中島 直美（なかじま なおみ） 創 curu 合同会社 代表</p> <p>娘が街でクルド人の青年に声をかけられたことから、クルド料理教室「Rojbinkitchen」に参加し「クルド文化教室」を始める。現在は自身の会社の事業として、クルド料理教室、オヤ教室を開催。オヤ製品の販売をおこなっている。著書に「クルドの食卓」。クルドの子どもに限らない外国籍の子どものための「川口こどもの未来アソシエイツ」共同代表。</p>	
ファシリテーター	<p>金子 玲子（かねこ れいこ）</p> <p>地球市民学習「世界に目を向けよう～今、私たちにできること～」代表 元中学校教員</p> <p>1992年 NGO 活動の関係でネパールへ。同じ空の下で懸命に生きるストリートチルドレンのことを知り、生徒たちと”学んで伝えるボランティア”を開始。その後、学校教育の活動から生涯教育の活動へと繋がり現在に至る。国籍も年齢も社会的立場も超え、地球市民として大切なことを考え、自分達の出来ることから実践するという活動を行っている。</p>	
ファシリテーター	<p>青木 克浩（あおき かつひろ） NPO法人NGO多文化共生協働センター・川口 副理事長</p> <p>1974年からラボ教育センター、その後（財）ラボ国際交流センターに勤務し、青少年の言語教育・国際交流に従事し、米国、カナダ、英国、メキシコ、豪州等を歴訪。国内の総支局長、ラボ日本語教育研修所を歴任。川口市の各種委員に任命。現在は新都心国際日本語学校校長を務める。</p>	

